

4 国有林野の活用

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の活用の適切な推進

国有林野の活用に当たっては、公益的機能の発揮等との調整を図りつつ、農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を行っています。

令和元年度末現在で約7万2千haの貸付け等を行っており、農地や採草放牧地が約1割、道路、電気・通信、ダム等の公用、公共用又は公益事業用の施設用地が約5割を占めています。また、東日本大震災からの復興のため、汚染土壌の仮置場等として、国有林野の無償貸付け等を引き続き行っています。

表－20 国有林野の用途別貸付け等の状況 (単位：ha)

区 分	令和元年度	(参考) 平成30年度
農耕・採草放牧地	10,204 (14)	10,288 (14)
道路敷	14,354 (20)	14,397 (20)
電気・通信事業用地	17,020 (24)	17,174 (24)
ダム・堰堤敷	3,405 (5)	3,314 (5)
森林空間総合利用事業用地	9,058 (13)	9,015 (13)
その他	17,523 (24)	16,988 (24)
合 計	71,564 (100)	71,175 (100)

- 注：1 面積は、各年度期末現在の数値である。
2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。
3 () 書は、合計に占める用途別の比率(%)である。
4 計の不一致は、四捨五入による。

表－２１ 国有林野の用途別売払い状況

(単位：ha)

区分	令和元年度	(参考) 平成30年度
所管換・所属替	169 (87)	101 (57)
公用・公共事業用	24 (12)	75 (42)
産業振興用	0 (0)	3 (1)
その他	2 (1)	0 (0)
計	194 (100)	178 (100)

注：１ () 書は、計に占める用途別の比率(%)である。

２ 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。

３ 計の不一致は、四捨五入による。

事例 29 国有林野を利用した小水力発電所

(中部森林管理局 中信森林管理署)



- ・長野県 塩尻市（しおじりし）
奈良井（ならい）国有林
- ・奈良井川菅ヶ平（かやがだいら）
小水力発電所の取水施設

中部森林管理局中信森林管理署では、治山ダム下流側で効率的に取水したい小水力発電事業者に対して、治山ダムに隣接する形で取水施設を設置するための用地の使用を許可し、令和２年１月には小水力発電施設が完成し稼働を始めました。

使用の許可に当たっては、治山ダムの機能や維持管理に支障の無いことを確認等した上で行いました。

今後も、再生可能エネルギー発電事業者等から国有林野の利活用の要望があれば、法令等に即して適切に対応することで、地域振興や地球温暖化対策等に貢献していきます。

(2) 公衆の保健のための活用の推進

国有林野事業では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として国民に提供しており、令和元年度は、延べ約1億3千万人の利用がありました。

また、全国620か所の「レクリエーションの森」のうち、特に景観等の優れたものを「日本美しいの森 お薦め国有林」として93か所選定し、多言語による情報発信や重点的な環境整備等に取り組んでいます。

さらに、令和元年度は、森林・山村の魅力を伝えることを通じて、山村振興に寄与するため、第2回目となる「わたしの美しいの森フォトコンテスト」を開催しました。

引き続き、地域の利用状況等を踏まえた上で、快適な利用環境が確保できるよう、「レクリエーションの森」の設定の見直しや、地域と連携した管理体制の充実、木道等の整備等に努めていくこととしています。

表-22 レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	83	95	11	たかおさん(東京)、あかさわ(長野)、つるぎさん(徳島)、やくしま(鹿児島)
自然観察教育林	92	24	14	しらかみさんち(青森)、あんもん(青森)、たき(青森)、ぶな(福島)、だいら(岐阜)、きんかざん(岐阜)
風景林	170	87	74	えりも(北海道)、あしのこ(神奈川)、あらしやま(京都)
森林スポーツ林	28	3	3	みいけ(福島)、たき(長野)、おうぎのせん(鳥取)
野外スポーツ地域	167	50	17	てんぐやま(北海道)、うらぼんだい(福島)、だいら(福島)、むこうざかやま(宮崎)
風致探勝林	80	14	8	ぬくみだいら(山形)、こまがたけ(長野)、にじのまつばら(佐賀)
合計	620	273	127	

注：1 箇所数及び面積は令和2年4月1日現在の数値であり、利用者数は令和元年度の参考値である。

2 計の不一致は、四捨五入による。

事例 30 訪日外国人旅行者の需要への対応に向けた「日本美しいの森 お薦め国有林」における多言語看板の整備

(四国森林管理局)



- 愛媛県 西条市（さいじょうし）老ノ川（おいのかわ）国有林
- 多言語看板の様子

四国森林管理局では、訪日外国人観光客を含む登山者の安全性や利便性の向上を図るため、標識類の多言語化を行っています。

令和元年度は、愛媛森林管理署管内の石鎚風景林にある登山道等に設置した説明看板や目的地を示す標識を英語や中国語等の多言語で表示しました。景観の説明については、アプリをダウンロードすることで看板に表示された二次元コードを読み取り、多言語で確認することができるようになっています。また、愛媛森林管理署や関係市町村、民間団体が参画する「石鎚山系連携事業協議会」では、利用者に分かりやすい標識となるよう標識のデザインを統一しました。

今後も、景観の説明や目的地等を分かりやすく表示した統一基準による多言語看板の整備に取り組むことで、訪日外国人観光客を含む利用者の拡大を図ることとしています。

事例 31 レクリエーションの森の活性化に向けた取組

(九州森林管理局 屋久島森林生態系保全センター)



- 鹿児島県 熊毛（くまげ）郡
屋久島町（やくしまちょう）
宮之浦嶽（みやのうらだけ） 国有林
- 白谷雲水峡のさつき吊り橋

世界自然遺産の一部でもある屋久島自然休養林を地域の観光資源として活用していくため、九州森林管理局屋久島森林生態系保全センターでは、屋久島町や屋久島観光協会等の地域関係者からなる屋久島レクリエーションの森保護管理協議会と連携して、平成 28 年度に「屋久島自然休養林活性化検討会」を立ち上げ、同自然休養林の魅力向上に向けて取り組んでいます。

これまで、同検討会では、同自然休養林内の荒川地区（通称：ヤクスギランド）において、訪日外国人旅行者の利便性向上のための多言語看板の整備、屋久杉の魅力を楽しめる新たなコースとして「天文の森コース」の設定、ガイドの育成等を行ってきました。

また、令和元年度には、管理棟の建替えのほか、コース内の吊り橋の補修、点検等を通じて利用者の安全確保に努めました。このほか、屋久島レクリエーションの森のサポーターである企業の社員や一般のボランティアの方等、延べ 102 名により、木道や手すり等のコケ落としや清掃活動を行っていただきました。今後も関係者と協力して同自然休養林の魅力向上に努めていくこととしています。